

もくじ

- ・ ヘンゼルとグレーテル

ヘンゼルとグレーテル

げんさく 原作：
どうわ グリム童話

しぶや あゆみ イラスト：
渋谷 亜由美

へんしゅう 編集：
YellowBirdProject

むかしむかし、とある山^{やま}のふもとに、木^きこりの夫婦^{ふうふ}
 が住^すんでいました。夫婦^{ふうふ}には、二人^{ふたり}の子^こどもがいま
 した。兄^{あに}の『ヘンゼル』と、妹^{いもうと}の『グレーテル』
 です。二人^{ふたり}はとても仲^{なか}の良い兄^い妹^{きょうだい}でした。

ある年^{とし}、国^{くに}にひどい寒^{かん}気がや^きってきて、作^{さく}物は
 みなか^なれてしま^い、人^{ひと}々は飢^うえと寒^{さむ}さに苦^{くる}しんで
 いました。

木^きこりの家^{いえ}でも食^たべ物^{もの}が底^{そこ}をつ^き、も^かう家^{ぞく}族^{ぞく}で
 暮^くらして^いくこ^むづか^かが難^{むづか}しくな^ってしま^いました。

そ^きこ^きで木^きこりの夫^{ふう}婦^ふは、森^{もり}の奥^{おく}へ行^いって、子^こども
 たち^おを置^おいて^きてしま^うこ^とに^した^のです。



5

おお置いていかれた二人の兄ふたり妹きょうだいは、手てをつないで歩あるき
はじめました。

「ねえお兄にいちゃん、お腹なか空いたよ。お家うちに帰かえりたい」

「大丈夫だいじょうぶだよ、グレーテル。ぼくまかに任いっしょせて。一緒いっしょに
家いえに帰かえろう」

ヘンゼルはこここゝに連つれてこられた時とき、隠かくしていた
パンすこを少しすこずつちぎって、道みちに落おとしてきたので
す。

二人ふたりは、道みちに落おちているパンめじるしくずを目印めじるしにして、
歩あるいていきました。

